

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）

動物を使用した研究業績

発表論文

マウス

- 1) Koichiro Kajiwara, Sachio Tamaoki and Yoshihiko Sawa
The Abnormal Expression of Tubular SGLT2 and GLUT2 in Diabetes Model Mice with Malocclusion-Induced Hyperglycemia.
Biomedicines 2025, 13, 267

ラット

- 1) Haruna Hirose, Noriyoshi Matsumoto, Seishiro Fujimasa, Shingo Kanemaru, Fumi Takahashi-Yanaga, Etsuko Matsuzaki.
「Relationship between dentin formation and sphingosine-1-phosphate receptor 1 (S1PR1) in a rat regenerative endodontic model」
(ポスター発表) 第98回日本薬理学会年会 (2025年3月)
- 2) 松本典祥, 吉本尚平, 藤政清志朗, 廣瀬陽菜, 金丸慎吾, 松崎英津子.
「ホスファチジルセリン含有リポソームと生体活性ガラスによる骨形成におけるマクロファージの局在」
(ポスター発表) 第160回日本歯科保存学会 (2024年5月)
- 3) 藤政清志朗, 松本典祥, 廣瀬陽菜, 金丸慎吾, 阿南 壽, 松崎英津子.
「ホスファチジルセリン含有リポソームがマクロファージを介した骨形成に及ぼす影響」
(ポスター発表) 第45回日本歯内療法学会学術大会 (2024年7月)
- 4) 吉永 泰周, 丸尾 直樹, 大城 希美子, 大和 寛明, 土持 那菜子, 中上 昌信, 坂上 竜資
「ラット口腔粘膜手術創の治癒におけるリグロスの影響」
(ポスター発表) 第68回秋季日本歯周病学会学術大会 (2024年10月)

マウス

- 1) K. KAJIWARA, Y. SAWA.
「Immunohistochemical study on the abnormal expression of tubular SGLT2 in diabetes model mice with malocclusion-induced hyperglycemia」
(ポスター発表) 第72回国際歯科研究学会総会日本部会 [JADR] 総会・学術大会 (2024年11月)
- 2) Nagao J, Nakagami M, Kishikawa S, Toyonaga K, Kaji E, Iwanuma A, Negoro-Yasumatsu K, Tasaki S, Iwai S, Tanaka Y.
「Investigation of immune regulation of Th17 cells in the development of periodontitis」
(ポスター発表) 第53回日本免疫学会学術集会 (2024年12月)
- 3) Nakagami M, Nagao J, Kishikawa S, Toyonaga K, Kaji E, Iwanuma A, Yoshinaga Y, Sakagami R, Iwai S, Tanaka Y.
「Development of evaluation system of the pathogenesis of periodontitis in a mouse model of periodontitis」
(ポスター発表) 第53回日本免疫学会学術集会 (2024年12月)
- 4) Kaji E, Toyonaga K, Tasaki S, Nagao J, Kishikawa S, Nakagami M, Iwanuma A, Tanaka Y.
「Regulatory mechanisms of Th17 cells in the pathogenesis of oral candidiasis」
(ポスター発表) 第53回日本免疫学会学術集会 (2024年12月)
- 5) Toyonaga K, Nagao J, Tasaki S, Umemura M, Kishikawa S, Iwai S, Kaji E, Iwanuma A, Nakagami M, Negoro-Yasumatsu K, Matsuzaki K, Tanaka Y.
「Functional analysis of signaling adaptor in a murine candidiasis model」
(ポスター発表) 第53回日本免疫学会学術集会 (2024年12月)

- 6) Kishikawa S, Nagao J, Toyonaga K, Kaji E, Nakagami M, Iwanuma A, Tasaki S, Negoro K, Iwai S, Tanaka S.
「Analysis of periodontal disease-induced cognitive impairment behavior in mice」
(ポスター発表) 第53回日本免疫学会学術集会 (2024年12月)
- 7) Iwanuma A, Toyonaga K, Nagao J, Iwai S, Kishikawa S, Kaji E, Nakagami M, Matsuzaki K, Oka K, Tanaka Y.
「Analysis of innate immune responses against Streptococcus mutans」
(ポスター発表) 第53回日本免疫学会学術集会 (2024年12月)
- 8) Munehisa Maeshiba, Hiroshi Kajiya, Keisuke Migita, Kazuko Goto-T, Takayoshi Seki, Tsugumi Fujita, Takashi Tsuzuki
Restoration of normal occlusal supporting suppress dementia risk factor in Alzheimer's model mice
(ポスター発表) APPW2025 第102回日本生理学会、第130回日本解剖学会・第98回日本薬理学会合同大会 (2025年3月)
- 9) 梶原弘一郎, 沢 禎彦, 玉置幸雄.
「ポドプラニンノックアウトマウスにおける前歯歯槽骨の骨リモデリング機構について」
(ポスター発表) 第83回日本矯正歯科学会学術大会 (2024年10月)
- 10) 梶原弘一郎、関 愛子、石川 翔子、沢 禎彦
「糖尿病モデルマウス腎におけるナトリウム-グルコース共輸送体について」
(ポスター発表) 第66回歯科基礎医学会学術大会 (2024年11月)
- 11) 永尾潤一、中上昌信、岸川咲吏、豊永憲司、加地英美、岩沼青葉、根来 (安松) 香奈江、田崎園子、岩井覚、田中芳彦.
「歯周病原細菌に特異的な免疫応答による歯周病の病態形成機構の解明」
(ポスター発表) 第66回歯科基礎医学会学術大会 (2024年11月)
- 12) 中上昌信、永尾潤一、岸川咲吏、豊永憲司、加地英美、岩沼青葉、吉永泰周、坂上竜資、田中芳彦.
「歯周病原細菌感染による歯周病マウスモデルの病態評価」
(ポスター発表) 第66回歯科基礎医学会学術大会 (2024年11月)
- 13) 加地英美、豊永憲司、田崎園子、永尾潤一、岸川咲吏、中上昌信、岩沼青葉、田中芳彦.
「Th17細胞による口腔カンジダ症の病態制御機構の解明」
(ポスター発表) 第66回歯科基礎医学会学術大会 (2024年11月)
- 14) 豊永憲司、永尾潤一、田崎園子、加地英美、岸川咲吏、中上昌信、岩沼青葉、根来香奈江、田中芳彦.
「Candida albicans感染における免疫受容体シグナル関連分子の役割」
(ポスター発表) 第66回歯科基礎医学会学術大会 (2024年11月)
- 15) 岸川咲吏、永尾潤一、豊永憲司、加地英美、中上昌信、岩沼青葉、根来香奈江、田崎園子、岩井覚、田中芳彦.
「歯周病によって誘導される認知障害の神経免疫学的分析」
(ポスター発表) 第66回歯科基礎医学会学術大会 (2024年11月)

- 16) 岩沼青葉、豊永憲司、永尾潤一、岸川咲吏、加地英美、中上昌信、岡暁子、田中芳彦.
「ミュータンス連鎖球菌を認識する自然免疫受容体の同定」
(ポスター発表) 第66回歯科基礎医学会学術大会 (2024年11月)
- 17) 浦崎奈緒、永尾潤一、岸川咲吏、田中芳彦.
「歯周病原細菌に対して抗菌活性を示すヒト口腔常在細菌の探索」
(ポスター発表) 第66回歯科基礎医学会学術大会 (2024年11月)
- 18) 前芝宗尚、鍛冶屋浩、後藤加寿子、関貴良史、藤田亜美、都築尊
咬合支持の回復による認知症誘発因子の抑制作用
(ポスター発表) 第66回歯科基礎医学会学術大会 (2024年11月)
- 19) 加地英美、永尾潤一、豊永憲司、岸川咲吏、田崎園子、池田水子、田中芳彦.
「病原真菌Candida albicansに対するTh17細胞による免疫制御機構の解明」
(ポスター発表) 第51回福岡歯科大学学会総会・学術大会 (2024年12月)
- 20) 岩沼青葉、豊永憲司、永尾潤一、岸川咲吏、岡暁子、田中芳彦.
「う蝕原性細菌認識受容体とそのリガンドの解析」
(ポスター発表) 第51回福岡歯科大学学会総会・学術大会 (2024年12月)
- 21) 関 貴良史1, 2), 鍛冶屋浩2, 3), 前芝宗尚1), 後藤加寿子4), 藤田亜美3), 都築尊1)
海馬におけるオキシトシン発現変化と認知機能との関連性
(ポスター発表) 第51回福岡歯科大学学会総会、学術大会 (2024年12月)
- 22) 梶原弘一郎, 沢 禎彦, 玉置幸雄.
「不正咬合を伴う糖尿病モデルマウスにおける尿細管SGLT2の異常発現に関する免疫組織化学研究」
(ポスター発表) 第20回九州矯正歯科学会学術大会 (2025年3月)
- 23) 梶原弘一郎, 沢 禎彦.
「Immunohistochemical study of abnormal expression of renal tubular SGLT2 in malocclusion-induced hyperglycemic diabetes model mice」
(ポスター発表) 第130回日本解剖学会総会・全国学術大会 (2025年3月)

カエル

- 1) 西村麻友子(1, 2)、谷口卓(3)、吉川瑞紀(1, 2)、藤田亜美(2)、玉置幸雄(1)
歯ちん蒿湯を構成する生薬はカエル坐骨神経の複合活動電位を相乗的に抑制する
(ポスター発表) 第83回日本矯正歯科学会学術大会 (2024年10月)